

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,810	△21.6	348	△53.1	298	△62.6	121	△71.2
2020年3月期第2四半期	11,239	△7.9	742	36.4	798	1.0	423	△11.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 109百万円(-%) 2020年3月期第2四半期 △56百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	16.96	—
2020年3月期第2四半期	58.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,194	11,881	50.4
2020年3月期	21,290	11,840	52.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,188百万円 2020年3月期 11,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	9.50	17.50
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	△17.0	450	△58.4	450	△61.5	300	△52.1	41.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,739,548株	2020年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	552,784株	2020年3月期	552,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	7,186,764株	2020年3月期2Q	7,186,764株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、消費の落ち込みに加え、企業業績や雇用環境の悪化が続いており、減速傾向にあります。一方で、緊急事態宣言の解除による経済活動の再開や外出自粛の緩和などの影響から、景気悪化の底打ちが見られました。

世界経済におきましては、欧米や新興国を中心とした新型コロナウイルスの感染拡大により、各国の経済は低迷しておりましたが、感染拡大防止策として実施されたロックダウンの解除などに伴い、大幅に制限されていた経済活動が再開され、景気は持ち直しつつあります。しかしながら、感染の再拡大が懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界においても、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は大きく、全般的に需要は減少しております。自動車関連では、各自動車メーカーで工場の稼働停止や減産が行われ、世界的に生産・販売台数が減少いたしました。家電分野では、感染拡大防止策に伴う経済活動の制限を背景に、国内外で需要が落ち込みました。一方、テレワークや在宅勤務の増加により、電子ペンやプリンターなど一部では一定の需要を維持しております。医療機器関連では、各国における経済活動の制限に影響を受けつつも、健康志向の増加に伴う医療ニーズの高まりを背景に、需要は底堅く推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注や省力化に向けた生産体制の強化、内製化の推進などを続けてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした取引先からの受注減に伴い、売上高は減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は88億1千万円と前年同四半期と比べ24億2千8百万円(21.6%)の減収、営業利益は3億4千8百万円と前年同四半期と比べ3億9千4百万円(53.1%)の減益、経常利益は為替差損の増加などにより2億9千8百万円と前年同四半期と比べ5億円(62.6%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千1百万円と前年同四半期と比べ3億1百万円(71.2%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、テレワークや在宅勤務の増加を背景に、電子ペン部品の売上高は増加いたしました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、多数の取引先からの受注が減少し、プラスチック成形事業全体では減収・減益となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて83億4千万円と前年同四半期と比べ20億8千7百万円(20.0%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は4億円と前年同四半期と比べ3億7千7百万円(48.5%)の減益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、医療機器と電子ペン部品の売上高は堅調に推移しましたが、市場の縮小が続くデジタルカメラ関連部品の売上高は、大幅な減収となりました。自動車向け電装品関係部品におきましても、受注の回復が見込めず、厳しい状況が続いております。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて3億7千7百万円と前年同四半期と比べ3億1千9百万円(45.8%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は6千万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)5千5百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、展示会や多くの開発案件が中止となりました。そのため、設計部門では、パッケージ基板や民生用の一般基板を中心に受注が減少し、設計業務の売上高は減収となりました。検査部門では、付加価値を付けた特殊基板や各種センサー等に使用されるセラミック基板の売上高が好調に推移しております。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億2千6百万円と前年同四半期と比べ2千7百万円(17.9%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は8百万円と前年同四半期と比べ1千万円(56.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億6千1百万円増加し、150億2千9百万円となりました。現金及び預金が1億5千万円、受取手形及び売掛金が5億6千2百万円、有価証券が8億1千4百万円それぞれ増加し、電子記録債権が1億3千2百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億5千6百万円減少し、71億6千5百万円となりました。有形固定資産が3億8千1百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ9億4百万円増加し、221億9千4百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ10億5千8百万円増加し、71億7千4百万円となりました。支払手形及び買掛金が2億4千5百万円、短期借入金が7億円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億9千5百万円減少し、31億3千8百万円となりました。長期借入金が2億9百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ8億6千3百万円増加し、103億1千3百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4千1百万円増加し、118億8千1百万円となりました。利益剰余金が5千3百万円増加したことなどが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、66億2千8百万円となり、前年同四半期と比べ15億6千万円(30.8%)増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益2億8千3百万円、非資金費用である減価償却費5億8千8百万円、たな卸資産の減少額1億1千1百万円、仕入債務の増加額2億6千1百万円及び売上債権の増加額4億5千1百万円などにより、営業活動全体として8億9千7百万円の収入となり、前年同四半期と比べ収入が3千5百万円(3.8%)の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出3億2百万円、有価証券の純増額7億9千8百万円、有形固定資産の取得による支出2億2千8百万円及び定期預金の払戻による収入3億6千5百万円などにより、投資活動全体として9億8千万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が5億1千8百万円(34.6%)の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純増額7億円、長期借入れによる収入5億円及び長期借入金の返済による支出7億3千9百万円などにより、財務活動全体として3億6千5百万円の収入(前年同四半期は7億9千9百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想及び配当予想(期末)につきましては、2020年8月7日に公表いたしました「2021年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

今後の日本及び世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、全世界的な減速傾向が続くものと思われまます。また、各国における感染拡大防止策の緩和に伴い、経済活動は再開されつつありますが、今後も一定の経済活動の制限が続く可能性があります。このような状況の中、当社グループは、国内生産への回帰や生産地の分散によりサプライチェーンの停止に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、新型コロナウイルスの感染拡大による影響に対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777,546	6,928,342
受取手形及び売掛金	3,189,600	3,752,185
電子記録債権	534,005	401,765
有価証券	—	814,414
商品及び製品	696,611	678,624
仕掛品	965,295	951,757
原材料及び貯蔵品	1,239,252	1,152,335
未収入金	184,488	187,682
その他	182,943	163,506
貸倒引当金	△1,300	△970
流動資産合計	13,768,444	15,029,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,249,224	2,145,441
機械装置及び運搬具(純額)	2,832,968	2,574,610
土地	1,148,758	1,148,758
リース資産(純額)	2,445	2,069
建設仮勘定	102,941	76,379
その他(純額)	562,930	570,751
有形固定資産合計	6,899,268	6,518,010
無形固定資産		
投資その他の資産	231,233	206,313
投資有価証券	146,428	158,768
退職給付に係る資産	90,093	114,742
繰延税金資産	3,409	2,891
その他	154,302	164,696
貸倒引当金	△2,885	△125
投資その他の資産合計	391,348	440,973
固定資産合計	7,521,850	7,165,296
資産合計	21,290,294	22,194,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795,252	2,041,048
短期借入金	2,150,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,292,396	1,262,404
未払法人税等	75,160	113,242
賞与引当金	195,082	273,497
その他	608,490	634,379
流動負債合計	6,116,381	7,174,571
固定負債		
長期借入金	2,660,946	2,451,706
繰延税金負債	263,447	282,129
役員退職慰労引当金	158,178	158,238
退職給付に係る負債	239,619	240,261
その他	11,580	6,351
固定負債合計	3,333,771	3,138,685
負債合計	9,450,153	10,313,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	8,411,296	8,464,873
自己株式	△397,883	△397,883
株主資本合計	12,448,541	12,502,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,279	△7,902
為替換算調整勘定	△1,246,692	△1,305,475
その他の包括利益累計額合計	△1,266,972	△1,313,378
非支配株主持分	658,572	692,943
純資産合計	11,840,141	11,881,683
負債純資産合計	21,290,294	22,194,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	11,239,169	8,810,336
売上原価	9,096,288	7,294,059
売上総利益	2,142,881	1,516,276
販売費及び一般管理費	1,399,915	1,167,765
営業利益	742,965	348,511
営業外収益		
受取利息	44,243	30,880
受取配当金	2,694	2,943
為替差益	6,717	—
助成金収入	—	13,144
その他	17,798	11,353
営業外収益合計	71,453	58,321
営業外費用		
支払利息	16,146	15,215
為替差損	—	92,213
その他	—	1,165
営業外費用合計	16,146	108,594
経常利益	798,272	298,237
特別利益		
固定資産売却益	213	706
特別利益合計	213	706
特別損失		
固定資産売却損	—	4,503
固定資産除却損	600	11,041
特別損失合計	600	15,545
税金等調整前四半期純利益	797,885	283,399
法人税等合計	169,553	134,775
過年度法人税等	173,499	—
四半期純利益	454,833	148,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,146	26,772
親会社株主に帰属する四半期純利益	423,686	121,851

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	454,833	148,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,421	12,376
為替換算調整勘定	△516,935	△51,176
その他の包括利益合計	△511,513	△38,799
四半期包括利益	△56,680	109,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,866	75,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,813	34,379

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	797,885	283,399
減価償却費	559,741	588,241
有形固定資産除却損	600	11,041
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△90	△330
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,765	78,084
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,588	60
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,127	2,522
受取利息及び受取配当金	△46,937	△33,823
支払利息	16,146	15,215
有形固定資産売却損益(△は益)	△213	3,797
売上債権の増減額(△は増加)	△397,590	△451,259
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,753	111,565
仕入債務の増減額(△は減少)	264,981	261,088
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,306	8,738
その他	20,133	109,466
小計	1,223,692	987,807
利息及び配当金の受取額	46,891	33,906
利息の支払額	△16,096	△16,560
法人税等の支払額	△330,839	△109,223
法人税等の還付額	9,085	1,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	932,732	897,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△299,053	△302,366
定期預金の払戻による収入	297,754	365,456
有価証券の純増減額(△は増加)	△691,131	△798,833
有形固定資産の取得による支出	△814,081	△228,735
有形固定資産の売却による収入	722	1,313
無形固定資産の取得による支出	△3,665	△1,644
その他	10,315	△15,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,499,140	△980,507
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△662,000	700,000
長期借入れによる収入	600,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△644,268	△739,232
配当金の支払額	△57,441	△68,034
非支配株主への配当金の支払額	△29,881	△21,378
その他	△5,991	△5,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△799,583	365,750
現金及び現金同等物に係る換算差額	△206,511	△68,620
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,572,503	214,186
現金及び現金同等物の期首残高	6,640,617	6,414,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,068,114	6,628,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,414,306	671,790	153,072	11,239,169	—	11,239,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,014	24,814	1,560	39,389	△39,389	—
計	10,427,321	696,605	154,632	11,278,559	△39,389	11,239,169
セグメント利益又は損失(△)	778,624	△55,029	19,370	742,965	—	742,965

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,331,489	351,941	126,905	8,810,336	—	8,810,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,682	25,661	—	34,343	△34,343	—
計	8,340,171	377,602	126,905	8,844,679	△34,343	8,810,336
セグメント利益又は損失(△)	400,828	△60,825	8,507	348,511	—	348,511

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。